

～コンコードを訪問して～

菅原 崇文（企業後継者）

自分は今回のコンコードの話を聞いたとき、「えっ？アメリカ？行かない、行けない」と最初は断りました。仕事はあるし英語はまったく話せないし、ましてやホームステイなんて無理だと思いました。しかし、過去に行った方達から色々話を聞いたところ絶対いい経験になると言われ「よし、アメリカを楽しんでこよう！」と参加を決意しました。行くからには七飯の代表として少しでも多くアメリカの文化を吸収し、七飯の方達へ伝えることが出来ればと思いました。

事前研修会では日常英会話やアメリカの習慣、文化、気候などを勉強しました。しかし11日間の長旅などしたことがなかったので準備に相当苦労しました。

いざ、函館空港出発！しかし、成田空港までは良かったが、成田からニューアークまでの13時間はきつかった。一睡も出来ず、映画を5本も観てしまった。

やっとの思いでボストンに降り立ち、人気の無い空港にはコンコードの人達が迎えに来てくれていた。空港からはスクールバスでコンコード・カーライル高校へ向い、各ホームステイ先のホストファミリー初対面。自分がお世話になるホームステイ先はジャック&ナンシー家だった。その後、一緒にホームステイする中野さんと共にナンシーが家へと連れて行ってくれた。着いてからは6日間お世話になる2階の部屋へと案内してくれた。自立して今家はいない2人の娘達の部屋だそう。荷物を運び入れ下に降りて少しするとジャックが仕事



から帰ってきた。2人にお土産の箸渡したら喜んでくれた。そしてジャックとナンシーからはコンコードTシャツを頂いた。ナンシーが「ビヤ～？」と言ったのでもちろん「イエス？」と答えた。インスタントラーメンも作ってくれた。疲れていたの朝起きられるか心配だったが夜中に何度も目が覚めてしまった。これが時差ぼけなのか？

翌朝、ジャックとナンシーが二人とも在宅仕事なので朝はわりとゆっくりだった。ホームステイ中はいつもジャックがモーニングコーヒーを淹れてくれた。コーヒー片手に広い庭に出て野生のリスなんかを見ながらの朝のスモーキングタイム、なんて贅沢なんだ。にわにはにわにわとり・・・

タバコと言えばコンコードにいる間タバコを吸っている町の人ほとんどいなかった。レストランなど公共の場所はすべて禁煙。タバコの値段も約700円。州によっ

ては税率が違うのでニューヨークでは約1,100円。そりゃーほとんど吸わないわ。

12日、コンコードタウンハウスに表敬訪問し、コンコードの歴史や町の仕組みなどを聴き、特別に作ってくれた記念品を頂いた。その後コンコード・カーライル高校に向かい校内を見学し、図書館で校長先生や教員の方達とランチをした。

デザートケーキはものすごく甘かったが、アメリカではそれが普通らしい。ランチを終え、次に向かったのはオーチャードハウス。ここは日本でも有名な若草物語の著者であるルイザメイオルコットが住んでいた家だそう。う〜ん歴史を感じる。何となく知っていたが、アメリカの家は日本に比べて、でかくて広いて古い感じがなんともかわいい。

一旦家に戻り少し休んだ後、国際交流で中心となって協力してくれているカーティン夫妻の家で開かれるパーティーに向かった。パーティーにはコンコードで暮らしている日本の家族も何組か来ていた。その場には第7代国際交流員のベンも来ていた。なかなかのイケメンだ。特技はボイバ、これがまたかっこいい。11月に七飯町に来るので日本語を猛勉強中らしい。再会が楽しみだ。

翌13日、この日は少し早めに起きて近くにあるウォールデンpondへ散歩へ行った。一応池らしいのだが、まあ湖ですね。天気は快晴、底が見えるほど澄んでいて周りの木々が高揚して綺麗だった。かわいいうりすもたくさんいた。ウェットスーツを着て泳いでいる人がいたのには驚いた。しばらくして様々な美術館へ行った。めったに観られない歴史的な物を見た。そして、腹が減ったのでコロニアルインで本場のハンバーガーを食べた。とてもでかかった。ついたあだ名が「ビーフマン」。

その後、スリーピーホロー墓地へ行った。広大な敷地内には19世紀の作家や思想家も眠っている。それから、アメリカ独立戦争が勃発した場所でもあるオールドノースブリッジへ行った。そこにはミニットマンという民兵の像があった。

14日朝からホームセンターや巨大スーパー、そして自分がセブンイレブンで働いていることもありアメリカのセブンイレブンへ連れて行ってもらった。ランチはレストラン99で巨大なリブと巨大なサンデーを食べ死にかけた。ランチを終え、自然食品を販売しているデボラのナチュラルショップに行き、散歩がてら地図を見ながら家に帰った。

その晩、全員で高校に集まりメインイベントのアニメナイトが行われた。生徒や家族達とピザを食べ、コンコードで大人気のイカダンスをみんなで踊った。



15日、この日はウィルソンと自分を含め5人で、少し離れたところにある克蘭ベリー農場へ見学に行った。その帰りの道中、ウィルソンがレイサムアウトレットモールに連れて行ってくれた。1～2時間ではすべてのショップを見ることは出来ないくらい広かった。帰宅後、我が家でパーティーだ！高校にアメフトの試合を見に行く予定だったが、雨だったため観にいけなかった。結果が気になる。

16日、昨日行ったアウトレットモールへまた行くことになり、ゆっくりとお土産なども見る事が出来た。その後、ホームステイ最後となる夕食をクラムチャウダーで有名なリーガルシーフードレストランで食べた。

そしてとうとうお別れの朝を迎えた。別れというのはいつになっても寂しいもので泣きそうになりながらも、ジャックとナンシーへ最高の笑顔で手を握ってコンコードを後にした。

11日間は長いような感じがしていたがあっという間だった。今回の研修ではアメリカの歴史や文化、また、豊かな自然に触れることができ貴重な体験が出来た。

このような機会を作ってくださった七飯町の方々、ジャック&ナンシー、一緒に仲間たち本当にありがとうございました！

自分はこの経験を一生忘れない。